

ご自由にお取りください

結ぶ

徳島東部
12市町村

mu
su
bu

Vol.3



歴史のヒント

徳島城の面影 [徳島市]

定住自立圏取組情報

文化・スポーツ交流の推進事業

市町村特集

安全・安心と賑わいのある町づくりを **北島町**

みかんが香り笑顔あふれる元気なまち **勝浦町**

ブランドのチカラ

和田島漁業協同組合 [小松島市]

(有村のおっさん桑原豆腐店 [佐那河内村])

JA松茂 [松茂町]

板野町ふるさと味づくり研究会 [板野町]

技の館「桜並木」 [上板町]

クイズで商品ゲット

徳島東部
12市町村
結ぶ
Vol.3

2013年10月発行
発行 徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局
編集・印刷 太陽高速印刷 有株式会社

〒770-8571 徳島県徳島市幸町2-5 徳島市企画政策局企画政策課内 ☎088-621-5085

人を結ぶ



阿部 利雄さん

藍住町歴史館 藍の館
館長 (藍住町)

藍の青さに魅かれて

Q お生まれは・・・?

松茂町なんですが五人兄弟の末っ子として昭和20年(終戦の年)に生まれました。中学生の時はいつも野球をしていましたね。25歳頃から藍住町で暮らしているので随分こちらが長いですね。大阪の大学を卒業後、光洋精工(今のジェイテクト)に就職。その後藍住町に再就職。教育委員会在籍中の定年1年前から藍の館に外向しました。二人の娘に恵まれました。



▲台湾にて

今年5月には阿波藍染工芸與文化交流講座に参加させていただき台湾へ講演に行っていました。(※台湾では温暖な気候を利用して藍染め産業は盛んで輸出産業として栄えている)徳島の地ではとても台湾と競争することはできませんが、阿波藍にしかない良さを全国から世界へと広めたいと思っています。

Q 藍の館でのお仕事は?

よりたくさんの方に来館していただきたいのはもちろんですが、藍染めの可能性を模索しています。真珠・石・竹などにも染めたりしてより多くの方に興味を持ってもらいたいと試行錯誤しています。特に次世代を担う小学生の子らにレクチャーすることが楽しいですね。みんなキラキラと目を輝かせています。子ども好きの私にとっては宝物です。



〈藍住町歴史館・藍の館〉情報……

板野郡藍住町徳命字前須西172
TEL.088-692-6317
開館時間 / 9:00~17:00
休館日 / 毎週火曜日(祝祭日は閉館)
12月28日~1月1日
入館料 / 大人300円、中・高生200円
小学生150円
団体(20名以上)大人250円
中・高生150円、小学生100円
○藍染体験500円より(～16:00まで)
○障害者手帳提示により100円引き

平成24年には約3万人の入館者があり、一般の方はもちろん知事さんやタレントさんの訪問もあり私たちにとてもいい刺激になりました。

Q 生まれかわったら

何処に住みますか?

今は、藍の青さに魅かれているんで、この慣れ親しんだ藍住町がええなあ。徳島って青い空、青い海、阿波藍って青い色がそっっているもんな。

次号予告

平成26年3月発行予定

- 市町村特集 上勝町・藍住町
 - 定住自立圏取組情報
 - ブランドのチカラ
- プレゼントが当たるクイズもあります。

冊子の設置場所

12市町村役場 / 徳島市立図書館 / 小松島みなと交流センターkococo / 道の駅「ひなの里かつら」 / いっきゅう茶屋 / 佐那の里 / JR石井駅 / 神山温泉 / 松茂町歴史民族資料館 / 北島町立図書館・創世ホール / 藍住町立図書館 / あせび温泉 / 技の館(ほか)

「徳島東部地域定住自立圏」とは!?「結ぶ」って?
徳島市を中心として周辺の11市町村と連携して「徳島東部地域定住自立圏」を形成し、12市町村が役割分担しながら連携・協力することで圏域全体の発展に向けたさまざまな取り組みを展開しています。本誌は徳島東部12市町村の住民の皆さんが「徳島東部地域定住自立圏」の魅力を知り、取り組みに参加することにより、市町村の枠組みを越えて、お互いが交流し結びつきを深める「結ぶ」ことを目的として発行しています。

【参加市町村】
徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

徳島城の面影

— 往時の栄華、今もなお —



豊臣秀吉の天下統一が進められていた1586(天正14)年から、文明開化の足音が響く1875(明治8)年まで、およそ300年にもわたって徳島の街を見守り続けてきた徳島城。現在ではお城があったこと自体を知らない人がいるほど、きれいな公園として整備されていますが、今も公園内の各所には往時の痕跡をみることが出来ます。

明治初期の古写真に姿をとどめる鷲の門は、鷲を飼う名目で建設されたと伝えられる、徳島城の玄関です。徳島城解体の後も保存され、長く市民に親しまれました。1945(昭和20)年の徳島大空襲でオリジナルは焼失してしまいましたが、1989(平成元)年に篤志家の寄付により再築。その重厚な構えを蘇らせました。

鷲の門をくぐり、右手の堀にかかる石橋を渡ると、周囲を巨石の石垣に囲まれた升形に行き当たります。石材は緻密に組み合わされ、隅には石材の長面・短面を交互に組み合わせる「算木積み」の技法が

採られています。石垣の各所には、凶案や漢字を彫り込んだ「刻印石」や、石材加工のための「矢穴」がみられ、築かれた当時の様子がしのべれます。博物館に隣接する国指定名勝の旧徳島城表御殿庭園は、桃山時代の武将茶人・上田宗箇の作庭とされ、地元の土産である阿波の青石(緑色片岩)が多数用いられています。江戸時代の姿をほぼそのまま残した名園で、かつて大名が愛でた風景を、同じ場所で眺めることができる贅沢なスポットとなっています。

は、かつての徳島城の堅城ぶりを雄弁に物語ってくれます。石垣は時代によって異なる技法が採られ、中でも本丸東側に残る自然石で積み上げた「野面積み」は、蜂須賀氏の入国当時に伝わるものとして「見の価値あり」といえるでしょう。

通勤・通学の途中に、お花見のシーズンに、阿波踊りの帰路に、あるいは気ままな散歩の道々に、もし徳島中央公園を通る機会があれば、少しだけ注意してあたりを探してみてください。姿を消して100年以上を経て、なお、きつと徳島城の面影を感じ取ることが出来ます。



徳島市立徳島城博物館

徳島市徳島町城内1番地の8
TEL.(088)656-2525
開館時間/9:30~17:00
(入館16:30まで)
休館日/月曜日(祝日の場合は開館)、
祝日の翌日、12月28日~1月2日
入館料/一般300円
高校・大学生200円
中学生以下無料
団体(20名以上)2割引
(特別展期間中は一般500円
高校・大学生300円)

徳島城と城下町、そして藩主蜂須賀家に関連する資料を主に扱う博物館です。今年度の特別展は「狩野栄川院と徳島藩の画人たち」(10月19日~11月24日)と題し、絢爛豪華な江戸狩野派の作品を全国から取り揃えています。ぜひ一度お立ち寄り下さい。



文化・スポーツ交流の推進事業

徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・
北島町・藍住町・板野町

新たな取り組み

徳島東部地域定住自立圏では、圏域の市町村が連携して行う施策のひとつとして、文化・スポーツを通じた圏域内外の住民の交流を促進しています。

そこで、2市5町が連携して、「第1回徳島東部地域ニュースポーツフェスティバル」を6月8日に共同開催しました。

ニュースポーツを楽しむ

ニュースポーツは、誰にでも、気軽に楽しめるように新しく考案されたスポーツのことで、今回は、車輪付きの円盤による陸上版カーリングの「カローリング」と大きなボールとクラブを使うパークゴルフの二種目で、カローリングは徳島市立体育館で、パークゴルフは藍住町河川敷運動公園で開催されました。晴天に恵まれ、両会場で約160人の幅広い年代の住民の方が交流を深めました。競技が進むにつれ白熱したゲーム展開に思わず歓声の上がる一幕もありました。



第1回 徳島東部地域ニュースポーツフェスティバル

●カローリング: 徳島市立体育館 ●パークゴルフ: 藍住町河川敷運動公園

平成25年6月8日(土)



パークゴルフ優勝者のコメント



【男性優勝】

宇山正治さん(板野町)

第1回の記念大会に思わぬ優勝することができて喜んでます。私はパークゴルフをする年齢としては、まだ若い方ですが週に2回ほど健康のためにラウンドしています。毎週このパークゴルフ場を利用していると、顔なじみの方や友達も増え、皆さんと和気あいあいプレーしています。



【女性優勝】

別所文恵さん(藍住町)

3年半前にこのパークゴルフを始めました。簡単そうに見えて奥の深いスポーツで最初はうまく出来ませんでしたが、練習を重ねるごとに上達しめり込んでいきました。友達も沢山できて仲良く、プレーを楽しんでいます。もっと多くの人がパークゴルフをしてくれたら良いと思っています。



北島町は県内で最も面積の小さい自治体です。町は以前より不動産（建設）業が盛んで、町に居住スペースを築く方も増加傾向にあります。大型ショッピングセンターや様々な業種の小規模店舗も充実しています。農業も盛んで生活の基盤となる衣・食・住が充実している証でもあり、暮らしやすさの原点ではないでしょうか。

安全・安心と賑わいのある町づくりを

新たな名所、誕生



川に囲まれた町の西部・高房地区に今年5月「ひょうたん遊歩道（通称）」が誕生しました。この遊歩道は大鵬薬品工業(株)が本年5月23日に竣工した北島工場の敷地内にあります。主に東隣の旧吉野川と同工場の水処理施設との間のスペースを活用した、約700mの遊歩道です。同所には早咲きから遅咲きまで多品種の桜が約560本植樹されシーズンには比較的長い期間、桜が楽しめます。

ることでしょう。一般開放は8時から17時で管理運営は主に町の方を中心に行っていたいただいています。また、今年8月3日のひょうたん夏祭りに巨大水処理施設を利用した滝と、LED照明のコラボがあり、今後イベントなどの機会には訪れた人を驚かせることでしょうか。

活性化に向けて着々と

「キユウヨシ」と呼ばれ全国大会で有名なバスフィッシングエリアがあるほか、町商工会では、新たな試みとして「食のまち」を代表する商品として、ラーメン激戦区北島町の名店を巡る北島ラーメンスタンプラリーを9月から始めました。これは町内8店舗を食べ歩き、6個のスタンプを押してもらい商工会に持参す

お出かけスポット

特産のチューリップ。毎年4月上旬から下旬にかけて約3万本が咲き誇ります。
北島町中村日開野

と先着100名様に「北島町ラーメン通！認定証」と町内加盟店で使える「グルメクーポン」がもらえるものです。

わたしのふるさと自慢



天羽 修さん
北島町商工会 会長

会長になって3期7年目ですが、町には強い企業があるので多くの就労の場が提供されています。その企業を活かすように県下一円への移動手段や立地条件も街は抜群です。県内で最も小さな自治体ですが、人口密度は四国の全市町村の中で1位（平成22年国勢調査）なんです。私が66年余り住んでいるこの町を、自分たちで守り、より住みやすい町にするため恩返ししたいと思います。

みかんが香り 笑顔あふれる 元気なまち



わたしのふるさと自慢



海川 喜男さん
坂本グリーンツーリズム 運営委員会委員長

坂本地区は勝浦町の西端で山間の静かな集落です。そんな閑静な地域が春のおひな様の奥座敷では大変な賑わいを見せます。各家の軒先におひな様を飾り付け、お客様をお迎えしています。地域一体となった行事でチームワークを発揮しています。

ふれあいの里さかもとは旧坂本小学校を宿泊施設につくり替えたもので、平成14年にオープンしました。以来、みかんやシイタケなどの農業体験、田舎こんにゃく・田舎豆腐作りなどの加工体験、山菜採りや川遊び、散策などの自然体験をはじめ地域の特色を生かしたメニューを用意して訪れたお客様をおもてなししています。

おすすめプレイス 道の駅「ひなの里かつうら」が23年にオープン



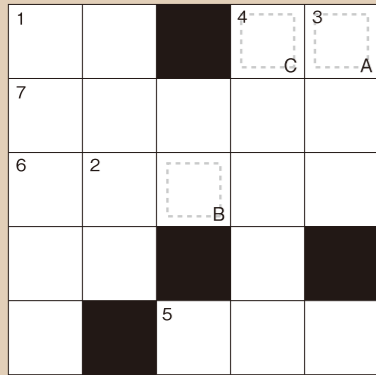
県内15カ所目の「道の駅」。JA東とくしまよってネ市、ビッグひな祭りが開催される人形文化交流館といった既存施設とともに一体的に運営することにより、観光交流の拠点として重要な役割を担っています。町にお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。

勝浦町は阿波みかんの産地として知られ、かつて「みかんが光るすばらしい黄金郷」の見出しで新聞で紹介された全国有数のみかん産地です。本格的なみかんづくりが始まったのは大正末期から昭和初期にかけてであり、昭和30年代には全盛期を迎えました。 今日では食の多様化などからみかん消費が減る傾向にありますが、厳選した高糖系温州みかんの産地化を徹底し、消費者に好まれる高品質なみかんをつくることで乗り切ろうとしています。勝浦みかんキャラクター「ちよぞっ娘」も貯蔵みかんの宣伝に役買っています。

春を呼ぶ 「ビッグひなまつり」

勝浦町には様々なイベントがありますが、何と言っても豪華絢爛なのが「ビッグひな祭り」。平成元年から勝浦に春を呼ぶイベントとして始まったもので、毎年2月中旬から3月中旬まで開催されます。会場の人形文化交流館には、中央にピラミッド状の

百段のひな壇がそびえ、その周囲の大小3百段のひな壇に飾られる約3万体のひな人形は、全国各地から寄せられるなど、今や人形を通じたグローバルなイベントに発展しています。 また、ひな祭りを盛り上げようと、「ふれあいの里さかもと」を中心とした「奥座敷」のアイデアに富んだひな飾りとともに、町内商店街の軒先には、住民の協力によりひな飾りが出現し、町全体がひな祭り一色となった様子は、訪れる人々に感動を与えています。



クロスワードパズルを解いて商品ゲット!
 プレゼントの中から抽選で16名様に、



- タテ**
- とくしま旅づくりネットのイメージキャラクターは○○○○○
 - 独特の風味のある○○味噌
 - 板野町の花、馬酔木と書いて○○○と読む
 - しゃくなげの花で有名な佐那河内村の○○○○○

- ヨコ**
- 上板町の特産品、「大山の○○」
 - 阿波おどりは○○○見物が一番です
 - カローリングは○○○スポーツと呼ばれます
 - 「○○○まちりめん」は、小松島にあります

答え
 神山下
 A B C

応募方法

官製はがきに、①クロスワードパズルの答え、②プレゼントの希望の商品名、③郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、④本誌「結ぶ」に対する感想や要望をご記入の上 〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内「結ぶ」プレゼント係へ平成26年1月10日(必着)までにお送りください。
 (お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します)
 【当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます】

いろいろな思いを巡らせながら、とうか三日坊主になりませんようにと、心に誓いました。

編集雑記

Vol.3

石井町

ベトナム 秋散歩

季節は移ろう
 永遠に続くかと思われたこの夏の暑さもだんだんと和らぎ、朝に夕に秋の気配を感じるようになってきました。
 今年の秋は、日頃の運動不足と夏の疲れを解消するために、ウォーキングならぬ休日散歩が目標です。
 桜や藤など春の印象がよい石井町ですが、田んぼに揺れる稲穂、土手沿いの彼岸花、木々の間から覗くお寺の堂々とした懐かし秋の風景は心と体をリラックスさせてくれます。子ども達の頃、みんなで写生に行っていた神や矢神のイチヨウは、今年もきれいな黄金色に色づいてくれるでしょうか。

上勝町

ベトナム S・K

高丸山
 「高丸山」は、勝浦川の上流、那賀町と上勝町の境にある標高1438mの山です。中部山岳国立自然公園に属し、四国百名山の指定を受けています。中腹(1000m以上)には、ブナなどの自然林に被覆されています。高丸山のブナ林は、太平洋岸に発達する典型的なブナスツケ群落に属し、勝浦郡はもとより県下においてきわめて貴重な群落です。
 現在、高丸山が位置する集落において、来年度開店に向けて、地元住民と各種団体が連携し「農家レストラン」の開店準備が進められています。
 開店することを楽しみにしているとともに、農家レストランにより地域が活性化されることを期待しています。

表紙の写真



9月29日、オープンアトリエの際に撮影。左より招聘作家のズスケン・ローゼンタールさん(ドイツ)、阿部さやかさん(日本)、ニック・クリステンセンさん(オランダ)で、約2か月間の滞在中に地域の人々とふれあひながら作品制作を行います。第15回神山アーティスト・イン・レジデンスの作品展覧会は10月27日から11月4日まで。
 Web:www.in-kamiyama.jp/art/kair

Power of BRAND



技の館「桜並木」 [上板町]

からだに優しいレストラン

今年3月にリニューアルしました。「鮮度を大切にした上板町の朝採れ有機野菜を中心に、時代に合った和食創作料理を提供しています」と藤原料理長。人気のランチタイムには特に女性客から「お手頃でとてもおいしい」と評判です。ディナーでは新鮮な魚介類や肉類でボリュームアップ。夏場にはバーベキューやビアホールもオープン。



PRESENT
 あわ和三盆糖あいす
 6個入り
 (3名様)

技の館「桜並木」
 ●板野郡上板町泉谷原東32-4
 ●TEL・FAX088-694-7890



(有)村のおっさん桑原豆腐店 [佐那河内村]

独自の製法で極濃豆乳を実現

NO.1人気商品「こいまる」は豆乳濃度15%以上、国産大豆を100%使用し凝固剤には深層海水天然にがりを使用しています。寄せてすぐ舌触りが自慢です。ブランド力をつけるためパッケージに

は「おっさん」のイラストと「こいまる」の文字が印象的に配置されています。当店ははじめJA徳島市佐那河内支所ふるさと物産直売所や徳島市内の食品店で買えるほか居酒屋さんでも味わえます。

PRESENT
 こいまる
 2丁セット
 (5名様)

村のおっさん 検索
 (有)村のおっさん桑原豆腐店
 ●名東郡佐那河内村上字宮前64-3
 ●TEL.090-7621-6756
 ●営業時間8:00~20:00 日曜定休



板野町ふるさと味づくり研究会 [板野町]

特産品を有効利用して作った逸品

板野町が米の消費拡大を主な目的として、町内の協力者を募っていたところ、この趣旨に賛同した主婦が集まり「板野町ふるさと味づくり研究会」が発足しました。同会では町内の農産物の地産地消、とりわけ昔から生産されてきたレンコンに注目

し、規格外農産物の有効利用をするため「れんこんクッキー」を考案して製造、販売しています。また、れんこんアイス、春人参を使ったニンジンアイスなども商品化して板野町の彩の館、あせび温泉、徳島駅前の観光ステーションで販売しています。



PRESENT
 れんこんクッキー
 10枚入2袋
 (5名様)

板野町ふるさと味づくり研究会
 ●板野町大伏平山4-6-1
 板野町歴史文化公園「彩の館」内
 ●TEL.088-672-5445



和田島漁業協同組合 「ちりめん」の店 [小松島市]

漁獲から加工まで一貫生産

和田島ちりめんは、漁師さんや漁協職員さんらがいつしょになって様々な取り組みを行って、ちりめんと言えば「和田島」と言われるブランドを育ててきました。漁期は4~12月で夏場が盛期です。漁協直営の「ちりめん」には新鮮で品質に

定評のあるちりめんを求めて、県内を中心に近県からも消費者の方が訪れます。和田島ちりめんの特長は漁師さんが水揚げした新鮮なシラスを、すぐにボイルして製品化するまでの速さに支えられた品質にあります。



Power of BRAND

ブランドのチカラ

JA松茂

[松茂町]

香りと甘みをギュと凝縮したイモ焼酎

JA松茂では平成20年より、なると金時の松茂美人を使った焼酎を農産物販売所「ふるさといち」で販売しています。吉野川の水とミネラルたっぷりの海砂で手塩にかけて育てた鮮やかな紅色の松茂美人を厳選し、品のあ

る甘さと深い味わいの焼酎に仕上げています。「飲みやす」「甘い香りが良い」と評判も上々です。アルコール度数は35度とやや高めですが水割り、お湯割りで飲むのに適しています。ぜひ一度お試しください。電話による販売も受け付けていますので、お気軽にお問合せ下さい。



ふるさといち

JA松茂
 ●板野郡松茂町広島番越1番地
 ●TEL.088-699-8595(直売所)
 ●FAX.088-699-2515
 直売所は土日・祝日休み 9:00~16:00

PRESENT
 松茂美人
 1本
 (1名様)



和田島漁協協同組合「ちりめん」の店
 ●小松島市和田島町字西浜手10-33
 ●フリーダイヤル0120-4147-52
 ●TEL.0885-37-1621
 ●FAX.0885-38-2457
 ●http://wadajima.com

PRESENT
 ちりめん(化粧箱入り)
 約400g
 (2名様)